

北九州工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	微分積分 B II	
科目基礎情報							
科目番号		0063		科目区分		一般 / 必修	
授業形態				単位の種別と単位数		履修単位: 2	
開設学科		生産デザイン工学科（知能ロボットシステムコース）		対象学年		3	
開設期		後期		週時間数		4	
教科書/教材		「新微分積分Ⅰ」大日本図書、「新微分積分Ⅰ問題集」大日本図書、「新微分積分Ⅱ」大日本図書、「新微分積分Ⅱ問題集」大日本図書					
担当教員		新任 ,石井 伸一郎,藤原 富美代					
到達目標							
1.偏導関数を用いて基本的な2変数関数の極値を求めることができる。 2.2重積分を用いて基本的な立体の体積を求めることができる。 3.基本的な1階微分方程式を解くことができる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		偏導関数を用いて基本的な2変数関数の極値を求めることができる		偏導関数が計算できる		偏導関数が計算できない	
評価項目2		2重積分を用いて基本的な立体の体積を求めることができる		2重積分を累次積分に直して計算できる		2重積分が計算できない	
評価項目3		微分方程式の意味を理解し基本的な1階微分方程式を解くことができる		基本的な1階微分方程式を解くことができる。		基本的な1階微分方程式を解くことができない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		2変数関数までの微積分と基本的な微分方程式の解法を身に着けることを目的とする。					
授業の進め方・方法		講義と演習を1セットとして進める。授業の進度に合わせてレポート課題を与える。					
注意点		1.微分積分Ⅰで学習したことは事前に復習しておくこと。 2.予習・復習・課題にしっかり取り組み、できるだけ多くの問題を解くこと。 3.第一四半期、第二四半期における試験は各四半期内にわたって複数回行うことがある。その際、各四半期内の試験点数の平均がそれぞれ中間試験と期末試験の素点として成績に計上される。					
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☒ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	高次偏導関数		基本的な関数について、2次以上の偏導関数を計算できる		
		2週	2変数関数の極値		偏導関数を用いて、基本的な2変数関数の極値を求めることができる。		
		3週	陰関数の微分		陰関数表示の意味を理解し、陰関数の導関数を求めることができる		
		4週	条件付き極値問題		偏微分を用いて条件付き極値問題を解くことができる		
		5週	2重積分（1）		2重積分の定義を理解し、累次積分になおして計算することができる。		
		6週	2重積分（2）		累次積分の積分順序の変更ができる		
		7週	体積		2重積分を用いて、基本的な立体の体積を求めることができる。		
		8週	第一四半期における試験（中間試験）				
	4thQ	9週	2重積分の座標変換（1）		回転変換を用いて2重積分が計算できる		
		10週	2重積分の座標変換（2）		極座標変換を用いて2重積分が計算できる		
		11週	2重積分の座標変換（3）		ヤコビアンを用いて2重積分の座標変換ができる		
		12週	2重積分の広義積分		2重積分の広義積分を理解し計算できる		
		13週	1階微分方程式（1）		微分方程式の意味を理解し、基本的な変数分離形の微分方程式が解ける		
		14週	1階微分方程式（2）		基本的な同次形の微分方程式が解ける		
		15週	1階微分方程式（3）		基本的な1階線形微分方程式が解ける		
		16週	第二四半期における試験（期末試験）				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
基礎的能力	数学	数学	数学	整式の加減乗除の計算や、式の展開ができる。		3	
				因数定理等を利用して、4次までの簡単な整式の因数分解ができる。		3	
				分数式の加減乗除の計算ができる。		3	
				実数・絶対値の意味を理解し、絶対値の簡単な計算ができる。		3	
				平方根の基本的な計算ができる(分母の有理化も含む)。		3	
				複素数の相等を理解し、その加減乗除の計算ができる。		3	

			解の公式等を利用して、2次方程式を解くことができる。	3	
			因数定理等を利用して、基本的な高次方程式を解くことができる。	3	
			簡単な連立方程式を解くことができる。	3	
			無理方程式・分数方程式を解くことができる。	3	
			1次不等式や2次不等式を解くことができる。	3	
			恒等式と方程式の違いを区別できる。	3	
			2次関数の性質を理解し、グラフをかくことができ、最大値・最小値を求めることができる。	3	
			分数関数や無理関数の性質を理解し、グラフをかくことができる。	3	
			簡単な場合について、関数の逆関数を求め、そのグラフをかくことができる。	3	
			累乗根の意味を理解し、指数法則を拡張し、計算に利用することができる。	3	
			指数関数の性質を理解し、グラフをかくことができる。	3	
			指数関数を含む簡単な方程式を解くことができる。	3	
			対数の意味を理解し、対数を利用した計算ができる。	3	
			対数関数の性質を理解し、グラフをかくことができる。	3	
			対数関数を含む簡単な方程式を解くことができる。	3	
			角を弧度法で表現することができる。	3	
			三角関数の性質を理解し、グラフをかくことができる。	3	
			加法定理および加法定理から導出される公式等を使うことができる。	3	
			三角関数を含む簡単な方程式を解くことができる。	3	
			三角比を理解し、簡単な場合について、三角比を求めることができる。	3	
			一般角の三角関数の値を求めることができる。	3	
			2点間の距離を求めることができる。	3	
			内分点の座標を求めることができる。	3	
			2つの直線の平行・垂直条件を利用して、直線の方程式を求めることができる。	3	
			簡単な場合について、円の方程式を求めることができる。	3	
			放物線、楕円、双曲線の図形的な性質の違いを区別できる。	3	
			簡単な場合について、不等式の表す領域を求めたり領域を不等式で表すことができる。	3	
			積の法則と和の法則を利用して、簡単な事象の場合の数を数えることができる。	3	
			簡単な場合について、順列と組合せの計算ができる。	3	
			等差数列・等比数列の一般項やその和を求めることができる。	3	
			総和記号を用いた簡単な数列の和を求めることができる。	3	
			不定形を含むいろいろな数列の極限を求めることができる。	3	
			無限等比級数等の簡単な級数の収束・発散を調べ、その和を求めることができる。	3	
			簡単な場合について、関数の極限を求めることができる。	3	
			微分係数の意味や、導関数の定義を理解し、導関数を求めることができる。	3	
			積・商の導関数の公式を用いて、導関数を求めることができる。	3	
			合成関数の導関数を求めることができる。	3	
			三角関数・指数関数・対数関数の導関数を求めることができる。	3	
			逆三角関数を理解し、逆三角関数の導関数を求めることができる。	3	
			関数の増減表を書いて、極値を求め、グラフの概形をかくことができる。	3	
			極値を利用して、関数の最大値・最小値を求めることができる。	3	
			簡単な場合について、関数の接線の方程式を求めることができる。	3	
			2次の導関数を利用して、グラフの凹凸を調べることができる。	3	
			関数の媒介変数表示を理解し、媒介変数を利用して、その導関数を求めることができる。	3	
			不定積分の定義を理解し、簡単な不定積分を求めることができる。	3	
			置換積分および部分積分を用いて、不定積分や定積分を求めることができる。	3	
			定積分の定義と微積分の基本定理を理解し、簡単な定積分を求めることができる。	3	
			分数関数・無理関数・三角関数・指数関数・対数関数の不定積分・定積分を求めることができる。	3	
			簡単な場合について、曲線で囲まれた図形の面積を定積分で求めることができる。	3	

			簡単な場合について、曲線の長さを定積分で求めることができる。	3	
			簡単な場合について、立体の体積を定積分で求めることができる。	3	
			2変数関数の定義域を理解し、不等式やグラフで表すことができる。	3	後1
			合成関数の偏微分法を利用して、偏導関数を求めることができる。	3	後1
			簡単な関数について、2次までの偏導関数を求めることができる。	3	後1
			偏導関数を用いて、基本的な2変数関数の極値を求めることができる。	3	後2,後3,後4
			2重積分の定義を理解し、簡単な2重積分を累次積分に直して求めることができる。	3	後5,後6
			極座標に変換することによって2重積分を求めることができる。	3	後9,後10,後11,後12
			2重積分を用いて、簡単な立体の体積を求めることができる。	3	後7
			微分方程式の意味を理解し、簡単な変数分離形の微分方程式を解くことができる。	3	後13
			簡単な1階線形微分方程式を解くことができる。	3	後14
			定数係数2階斉次線形微分方程式を解くことができる。	3	後15
			簡単な1変数関数の局所的な1次近似式を求めることができる。	3	
			1変数関数のテイラー展開を理解し、基本的な関数のマクローリン展開を求めることができる。	3	
			オイラーの公式を用いて、複素数変数の指数関数の簡単な計算ができる。	3	

評価割合

	試験	発表・課題・小テスト	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	30	0	0	0	0	100
基礎的能力	70	30	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0